

## ◆ 第5分科会【教育課題】 自立と社会性 ◆



## 子どもの自立と社会性を育む学校経営の推進

竹 埜 理恵子 (尾花沢市立宮沢小学校)

## 1 はじめに

「社会において自立的に生きる基礎を培う」ことは、義務教育の目的である。主体的・対話的で深い学びの実現や探究型学習を一層推進する中で、急激に変化する社会を豊かに生きるために、自ら考え行動する力や、様々な人々と関わり合う力を育むことがこれまで以上に強く求められている。

## 2 研究の概要

## (1) 研究のねらい

子どもたちの自立と社会性を育む学校経営を推進するための校長の役割と指導性を明らかにする。

## (2) 研究の方法

- ① 1年次 (令和2年度)
  - ・研究の概要と方向性を協議
  - ・意識調査の内容検討
- ② 2年次 (令和3年度)
  - ・意識調査の実施
  - ・効果的な実践事例の共有
- ③ 3年次 (本年度)
  - ・研究のまとめと提言

## 3 研究の内容

## (1) 意識調査

- ① 対象：北村山地区小学校長
- ② 内容：
  - ・自校の児童が、「自立的行動ができているか」「社会性が育まれているか」
  - ・「自立」および「社会性」を育むための取組と成果および課題
  - ・課題克服のための校長の役割
- ③ 分析方法
  - ・抽出言語を分析視覚化、意識傾向を把握
- ④ 考察
  - ・自立に必要な資質能力として、「行動」「考える」「自ら」に強く意識が向いている。

- ・社会性を育むため、「関わり」「コミュニケーション」「規範意識」を重視。
- ・「自立」と「社会性」はそれぞれ単独で育まれるものではなく、将来の「自己実現」に向かった縦軸と横軸の関係にある。

## (2) 実践事例の共有

- ① 自ら考え行動する力を育むために
  - ア) 「自己選択型清掃」
  - イ) 「子ども宇宙プロジェクト2021」
- ② かかわり合う力を育むために
  - ア) 「小田島田植踊伝承活動」
  - イ) 「森林学習」

## 4 成果 (○) と課題 (●)

- 教育活動を自立と社会性を育む視点で見直したことにより、「自立」(縦軸)と「社会性」(横軸)の関係性が見えてきた。
- 「自立につながる資質能力」および「社会性を育む資質能力」という2つの視点で教育活動を見直すことにより、活動の精選と焦点化を図ることができた。
- 教育目標と、自立および社会性に関わる育てべき資質・能力の関係性を明らかにすることが重要である。
- 学校と地域がねらいを共有し、明確化を図り、協働体制を強化する必要がある。

## 5 提言

- (1) 子どもに将来自立するための基礎を育むという観点から、自校の教育活動を、縦軸に「自立」横軸に「社会性」をとり分析してみよう。
- (2) 分析をもとに、教育活動全体を通して、自ら考え行動する力、様々な人々と関わり合う力が育成されるように、軽重やバランスを意識したカリキュラムをデザインしよう。
- (3) 校長自らが積極的に地域に出て、良好な関係を築いて行こう。